



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月9日

上場会社名 フロイント産業株式会社
 コード番号 6312 URL <http://www.freund.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏島 巖
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 若井 正雄
 四半期報告書提出予定日 2020年1月9日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-6890-0750

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の連結業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	11,110	16.1	93	86.1	111	85.5	37	92.8
2019年2月期第3四半期	13,243	3.7	670	41.9	770	34.4	523	38.4

(注) 包括利益 2020年2月期第3四半期 5百万円 (99.1%) 2019年2月期第3四半期 628百万円 (25.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	2.25	
2019年2月期第3四半期	31.08	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	18,182	12,921	71.1	771.70
2019年2月期	17,448	13,250	75.9	791.34

(参考) 自己資本 2020年2月期第3四半期 12,921百万円 2019年2月期 13,250百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		20.00	20.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の連結業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	7.7	600	50.9	600	54.8	350	58.5	20.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	18,400,000 株	2019年2月期	18,400,000 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	1,655,480 株	2019年2月期	1,655,480 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	16,744,520 株	2019年2月期3Q	16,846,340 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
3. その他	11
受注及び販売の状況	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、中国向けを中心とした輸出の鈍化による製造業の停滞を、底堅い内需を背景とした非製造業が補う構図となり、雇用・所得環境の堅調さも相俟って、全体として緩やかな成長が続きました。

一方、世界経済は、米中通商摩擦、中国経済の先行き、英国のEU離脱、中東情勢等、不透明な要因が依然多く、今後、世界経済の予想外の減速や金融市場の動揺、企業・消費者マインドの低下をもたらす可能性があり、予断を許さない状況にあります。

当社グループの主要ユーザーであります医薬品業界は、薬価改定やジェネリック医薬品使用促進などの医療費抑制策の強化や、研究開発費の高騰と開発リスクの増大などへの構造変革の対応に迫られております。

このような事業環境のもと、当社グループは、第7次中期経営計画(2018年2月期～2022年2月期)の3年目を迎え、中期計画後半の計画達成のための施策を強力に推進しております。

当期(2019年3月1日～2020年2月29日)の具体的な課題として、

- ①アジア諸国(インド・中国)、米国および南米諸国、欧州での営業体制強化
- ②グローバル戦略製品の開発、グローバルサプライチェーンの構築
- ③医薬品添加剤の生産体制整備
- ④オープンイノベーションをベースとした産学との連携強化
- ⑤技術交流などを通じた人財育成

などに取り組み、将来の業容拡大に向けた経営基盤を整備しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は111億10百万円(前年同期比16.1%減)、営業利益は93百万円(同86.1%減)、経常利益は1億11百万円(同85.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は37百万円(同92.8%減)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

・機械部門

造粒・コーティング装置を主力とする機械部門においては、フロイント・ターボ社、FREUND-VECTOR社を含め、グループ全体として装置の納入時期が第4四半期に偏重しており、第3四半期においては固定費を吸収できず、セグメント損失計上を余儀なくされました。

この結果、売上高は67億49百万円(同22.6%減)、セグメント損失は1億42百万円(前年同期は2億95百万円のセグメント利益)となりました。

・化成品部門

医薬品の経口剤に使用される医薬品添加剤は、国内は堅調に推移した一方で、海外大口ユーザーの生産調整の影響により、売上高、営業利益ともに微減となりました。

食品品質保持剤は、海外市場の開拓にも取り組むなど積極的な営業展開を図りましたが、競争激化のなか、売上高、営業利益ともに減少となりました。

この結果、売上高は43億60百万円(同3.5%減)、セグメント利益は6億52百万円(同16.5%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 平成30年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、財政状態の状況については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値で前連結会計年度との比較・分析を行っております。なお、前連結会計年度末の総資産額及び負債の合計は、それぞれ17百万円減少しております。

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ7億34百万円増加し、181億82百万円となりました。増減の主な要因は、現金及び預金が13億2百万円減少したものの、仕掛品が11億58百万円、機械装置及び運搬具等を含む有形固定資産のその他（純額）が4億69百万円、商品及び製品が1億60百万円増加したことによるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ10億63百万円増加し、52億60百万円となりました。この主な要因は、前受金が7億71百万円、電子記録債務が6億85百万円増加したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億28百万円減少し、129億21百万円となりました。この主な要因は、利益剰余金が2億97百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期の業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間における業績等を鑑みて、2019年4月9日の決算短信で発表した通期業績予想から修正しております。詳細につきましては本日開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,534,431	4,232,255
受取手形及び売掛金	4,172,348	4,167,322
電子記録債権	160,222	153,152
商品及び製品	414,397	575,274
仕掛品	1,053,685	2,212,108
原材料及び貯蔵品	1,007,294	1,083,380
前払費用	138,074	132,179
その他	239,599	330,974
貸倒引当金	△8,869	△5,478
流動資産合計	12,711,184	12,881,169
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,162,954	1,131,261
土地	1,239,674	1,239,432
その他（純額）	1,366,441	1,835,824
有形固定資産合計	3,769,070	4,206,518
無形固定資産		
その他	16,349	96,468
無形固定資産合計	16,349	96,468
投資その他の資産		
繰延税金資産	160,556	218,413
その他	796,334	785,281
貸倒引当金	△5,400	△5,400
投資その他の資産合計	951,491	998,294
固定資産合計	4,736,911	5,301,282
資産合計	17,448,096	18,182,451
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,587,769	1,516,133
電子記録債務	582,051	1,267,847
未払法人税等	151,746	—
前受金	666,802	1,438,719
賞与引当金	212,735	133,417
役員賞与引当金	30,000	6,750
その他	707,653	656,381
流動負債合計	3,938,759	5,019,249
固定負債		
退職給付に係る負債	162,460	169,665
資産除去債務	35,131	35,248
その他	61,092	36,580
固定負債合計	258,685	241,494
負債合計	4,197,445	5,260,743

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,035,600	1,035,600
資本剰余金	1,289,513	1,289,513
利益剰余金	11,918,177	11,621,029
自己株式	△773,363	△773,363
株主資本合計	13,469,928	13,172,779
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,459	31,463
為替換算調整勘定	△265,653	△292,600
退職給付に係る調整累計額	10,917	10,065
その他の包括利益累計額合計	△219,276	△251,072
純資産合計	13,250,651	12,921,707
負債純資産合計	17,448,096	18,182,451

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2018年3月1日 至2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)
売上高	13,243,297	11,110,801
売上原価	8,874,332	7,331,451
売上総利益	4,368,964	3,779,350
販売費及び一般管理費	3,698,631	3,686,287
営業利益	670,332	93,062
営業外収益		
受取利息	3,029	3,992
受取配当金	63,727	6,242
受取技術料	5,579	4,969
為替差益	9,025	—
その他	21,667	9,568
営業外収益合計	103,028	24,772
営業外費用		
支払利息	767	243
為替差損	—	2,607
支払補償費	—	1,623
その他	1,945	1,963
営業外費用合計	2,712	6,438
経常利益	770,648	111,397
特別利益		
固定資産売却益	662	9,997
投資有価証券売却益	—	2,200
投資有価証券償還益	23,874	—
特別利益合計	24,537	12,197
特別損失		
減損損失	—	2,188
固定資産除却損	2,297	26,085
投資有価証券評価損	—	875
特別損失合計	2,297	29,148
税金等調整前四半期純利益	792,888	94,446
法人税等	269,242	56,697
四半期純利益	523,646	37,748
親会社株主に帰属する四半期純利益	523,646	37,748

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)
四半期純利益	523,646	37,748
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,558	△3,995
為替換算調整勘定	111,937	△26,947
退職給付に係る調整額	1,976	△852
その他の包括利益合計	104,356	△31,795
四半期包括利益	628,002	5,953
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	628,002	5,953

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用しております。

(追加情報)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	8,723,378	4,519,918	13,243,297	—	13,243,297
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,723,378	4,519,918	13,243,297	—	13,243,297
セグメント利益	295,628	781,214	1,076,843	△406,511	670,332

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△406,511千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	米国(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
10,064,892	1,089,652	626,236	251,209	1,211,305	13,243,297

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、英国等
- (3) その他……………アジア等

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	機械部門	化成品部門	計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	6,749,900	4,360,900	11,110,801	—	11,110,801
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,749,900	4,360,900	11,110,801	—	11,110,801
セグメント利益又は損失(△)	△142,204	652,630	510,426	△417,363	93,062

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失(△)の調整額△417,363千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る減損損失を「機械」セグメントにおいて203千円、「化成品」セグメントにおいて1,984千円計上しております。

3. 地域に関する情報

売上高

当社では、「四半期財務諸表に関する会計基準」で要求される開示に加え、財務諸表利用者に有用な情報を提供するため、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」等に基づく地域に関する情報(売上高)を開示しております。

日本(千円)	米国(千円)	中南米(千円)	欧州(千円)	その他(千円)	計(千円)
8,514,237	1,188,351	535,034	307,249	565,929	11,110,801

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎として、国又は地域に分類しております。

2. 本邦以外の地域区分は、地理的近接及び事業活動との相互関連性を勘案して決定しており、各区分に属する主な国又は地域は、次のとおりであります。

- (1) 中南米……………ブラジル等
- (2) 欧州 ……………フランス、英国等
- (3) その他……………アジア等

3. その他

受注及び販売の状況

(1) 受注高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	8,620,929	98.6	7,208,524	83.6
化成品部門	554,167	116.0	489,765	88.4
合計	9,175,096	99.5	7,698,290	83.9

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 受注残高

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	
	金額	前年同期比(%)	金額	前年同期比(%)
機械部門	5,818,175	75.7	5,994,478	103.0
化成品部門	115,464	88.1	109,997	95.3
合計	5,933,639	75.9	6,104,475	102.9

- (注) 1. 化成品部門のうち医薬品添加剤と食品品質保持剤は、販売計画に基づいた見込生産によっておりますので記載を省略しております。
2. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
3. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(3) 販売実績

(単位：千円)

セグメントの名称	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)		当第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	
	金額	構成比(%)	金額	構成比(%)
機械部門	8,723,378	65.9	6,749,900	60.8
化成品部門	4,519,918	34.1	4,360,900	39.2
合計	13,243,297	100.0	11,110,801	100.0

- (注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間の取引は相殺消去しております。
2. 上記の金額には消費税等は含まれておりません。